

「令和3年度エビデンスを創出する ための調査委託事業のうちロジック モデルのブラッシュアップ支援」 業務実施報告書

2022年1月14日

株式会社富士通総研

1. 事業概要

- ① 目的
- ② 事業内容
- ③ スケジュール

2. 事業結果

- ① ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示等
- ② ロジックモデル作成上の課題の抽出
- ③ ロジックモデル作成における留意点の取りまとめ

① 目的

- 我が国の経済社会構造が急速に変化する中、限られた資源を有効に活用し、国民により信頼される行政を展開するためには、政策部門が、統計等を積極的に利用して、エビデンスに基づく政策立案（E B P M : Evidence-based Policy Making）を推進する必要がある。
- このため、農林水産省では、一定額以上等の予算事業について、現状・課題、政策手段、政策目的の達成計画及び政策効果の因果関係を簡潔にまとめた「ロジックモデル」の作成を行っているところ、ロジックモデルにおいてアウトプットとアウトカムの因果関係が明確でない等の課題があることから、本事業において、外部の専門的知見を活用し、ロジックモデルの点検とブラッシュアップ（改善）の提案を実施することにより、E B P Mに関する知見を組織内部に蓄積することを目的とする。

(1) ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示等

- 令和3年度EBPMの実践的取組対象として農林水産省の各政策・事業を所管している課（政策担当課）が作成したロジックモデル（約100事業）について、ロジックモデルの「点検の視点」に基づき点検し、点検結果及び改善点を「ロジックモデル点検シート」に取りまとめた。

(2) ロジックモデル作成上の課題の抽出

- （1）の結果を踏まえ、農林水産省におけるロジックモデル作成に当たっての共通する課題を抽出し、事業類型ごとの留意点や改善例を取りまとめた。

(3) ロジックモデル作成における留意点の取りまとめ

- （1）及び（2）の結果を踏まえ、農林水産省のロジックモデル作成における留意点を取りまとめた。

1. 事業概要

③スケジュール

業務工程	2021年														2022年
	8月		9月			10月			11月			12月			1月
	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬 ～14
(1) ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善等の提示等	点検方針の確認	点検の実施	最終的な改善点の提示												
(2) ロジックモデル作成上の課題の抽出															
(3) ロジックモデル作成における留意点の取りまとめ															
(4) 成果物に関する打合せ等															

2. 事業結果

①ロジックモデルの点検、点検結果の提出及び改善点の提示等

- 予めロジックモデルの「点検の視点」を整理した。
- 約100事業のロジックモデルについて、「点検の視点」に基づき点検し、点検結果及び改善点を「ロジックモデル点検シート」（図表1）に取りまとめた。
- 一部の事業については、政策担当課と意見交換（オンライン）を実施し、ロジックモデルの改善提案を行った。

図表1 ロジックモデル点検シート

事業等名			
担当局		担当課	
観点	点検の視点	点検結果	コメント
ア) 課題及び目標に関する視点	【ア-1】可能な限り定量的に現状分析がなされているか。		
	【ア-2】現状分析を踏まえて課題が明確になっているか。		
イ) 政策手段に関する視点	【イ-1】課題及び背景要因から政策の必要性が示されているか。		
ウ) 政策目的達成計画に関する視点	インプット	【ウ-1】事業費が記載されているか。（複数年度の場合、すべて記載）	
	アクティビティ	【ウ-2】政策手段の内容が具体的に記載されているか。（誰に対して何を行うのか）	
	アウトプット	【ウ-3】アクティビティの直接の結果となっているか。	
	アウトカム（短期）	【ウ-4】政策の対象者に生じた効果となっているか。	
		【ウ-5】アウトプットとのつながりが飛躍していないか。	
	アウトカム（中・長期）	【ウ-6】政策の対象者に生じた効果又は他への波及効果となっているか。	
		【ウ-7】アウトカム（短期）とのつながりが飛躍していないか。	
		【ウ-8】アウトカム（中長期）が課題と対応しているか。	
	インパクト	【ウ-9】アウトカムとのつながりが飛躍していないか。	
		【ウ-10】政策を通じて実現したい国益・姿が記載されているか。	
エ) 成果の把握に関する視点		【エ-1】アウトカム（短期）指標として、対象者に生じた効果を測定する指標が設定されているか。	
		【エ-2】アウトカム（中・長期）指標として、対象者に生じた効果又は他への波及効果を測定する指標が設定されているか。	

2. 事業結果

② ロジックモデル作成上の課題の抽出

- ロジックモデルの点検結果を踏まえ、農林水産省におけるロジックモデルの「点検の視点」ごとの対応状況を検証し、ロジックモデル作成に当たっての共通する課題を抽出した。
- 事業類型ごとにロジックモデル作成上の留意点を取りまとめるとともに、具体的なロジックモデルを示しながら、課題や留意点、ロジックモデルの改善例を示した。（図表2）

図表2 改善方策の提示イメージ



2. 事業結果

③ロジックモデル作成における留意点の取りまとめ

- 以下の構成で、農林水産省のロジックモデル作成における留意点を取りまとめた。

項目	内容
1. EBPMとロジックモデル	(1) EBPM推進の目的と方向性 (2) EBPM推進に向けたロジックモデルの役割 (3) ロジックモデルの活用方法
2. ロジックモデルの作成方法とチェックリスト	(1) ロジックモデルとは (2) ロジックモデル作成時のポイント (3) ロジックモデル作成方法とチェックリスト
3. 農林水産省のロジックモデル作成上の留意点等	(1) 令和3年度のロジックモデルの特徴 (2) ロジックモデル作成時の留意点・改善方法